

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2) 地域活性化総合特区 ① グリーン・イノベーション分野(9/9)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
栃木発再生可能エネルギービジネスモデル創造特区 (栃木県)	正	2.2	1.5 進捗度 ・農業用水を活用した小水力発電事業による発電総出力、年間電力量 0% ・小水力発電施設の製造、設置やメンテナンスに関わる県内企業の売上増加額 0% ・小水力発電事業の推進 33%	3.2 規制の特例等 ・特定水力発電事業 等 財政支援等 ・小水力等農村地域資源利活用促進事業 地域独自の取組 ・流水占用料の減免検討 等	2.0	<p>・事業の進捗が遅れており、平成28年度以降の進捗の見通しや取組の予定等をより具体的に詳しく示す必要がある。</p> <p>・東京電力による系統接続制約が影響を与えているとのことだが、目標設定の考え方によれば、実際に系統接続の事前検討が行われているようには読み取れず、また、平成26年度に予定されていた資金調達も行われていないため、実際に事業として発電事業を行う事業者が見出せていないのではないかと考えられる。</p> <p>・700箇所の調査を行っているが、事業化に進むことのできない要因を明らかにすることが今後の地域電力事業展開の重要な知見になると考えられる。</p> <p>・今後、ごみ対策の課題をクリアしうる発電形式の選定を進めるため、「第1期計画」の早期決定、関係主体との調整を経て、小水力発電事業の速やかな実施を期待したい。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。